



# 校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い いつも元気に あかいつ子◆

さくらだいこくん

## 和太鼓発表会 お待ちしています

赤井小学校の特色ある教育「赤井5（ファイブ）」。「和太鼓活動」「大槻俊斎学習カリキュラム」「田んぼの学校」「SDG s 活動」「たてわり活動」の五つです。コミュニティ・スクールとして、地域の皆様、保護者の皆様の協力・参画をいただきながら、あかいつ子のよりよい成長を目指して教育活動に取り組んでいます。その一つ、和太鼓活動は、学年間の教え合いやめあてを持った練習を通して、共に学ぶ良さを味わい、やり抜く力や豊かな感性を育みます。また、6年生は「赤井いぶき太鼓」を引き継いで地域や市の行事でも演奏し、伝統をつなぐ志（こころざし）や自己肯定感を育んでいます。

学校では、今週末に迫った「和太鼓発表会」を前に、休み時間にも練習の音が響いています。今年度は講堂の改修工事のため、赤井市民センターをお借りして発表会を実施します。講堂とは勝手が違い、当初は少し戸惑いもありましたが、練習を重ねながら、子どもたちは次第に自信に満ちた表情で演奏するようになっていきます。練習を見ている私たちが元気になるような演奏です。

新型コロナウイルス感染症防止のため、保護者の皆様の来場は1家庭2名以内とし、学年部入れ替え制で行いますが、ぜひご来場いただき、子どもたちの成長を実感していただければと思います。当日は寒さも予想されますので、暖かくしてご来場ください。お待ちしております。

### 各学年のめあて



- <1年生> 元気な声で、心を一つにして演奏しよう
- <2年生> 姿勢よく、声を大きくはっきりと太鼓をたたけるように頑張る
- <3年生> 体全体を大きく動かして、迫力のある演奏をしよう
- <4年生> 協力して、強弱を付けた迫力のある演奏をしよう
- <5年生> 「みんなで支え合い、本番で笑顔になれるような最高の演奏をしよう」を目指し、大きな掛け声と全員でリズムを合わせることを大切にする
- <6年生> かっこよく、すべての人の思い出に残る迫力のある演奏をする



(左) 3年生：大きな動きです！



(右) 5年生：関先生の指導に真剣に耳を傾けています

# チャレンジ・おうえん・あかいっ子！

1月10日の冬休み明け朝会で、赤井小全体のめあてとして「チャレンジ おうえん あかいっ子」を頑張ってもらいたいと話しました。これまで付けてきた力を発揮する「チャレンジ」と、友達へのチャレンジを「応援」する支え合いの心があかいっ子の更なる成長につながるからです。話した内容の一部を紹介します。

(略)これから修了式までは、今の学年で身に付けたことを確かめ、次の学年への準備をする大切な時期です。そこで、赤井小全体のめあてとして、「チャレンジ おうえん あかいっ子」を頑張ってもらいたいと思います。

まずは、「チャレンジ」についてです。皆さんは、4月からこれまで、たくさんのことを頑張って、勉強や運動の力、友達への思いやりやあきらめないことなど心の力も付いてきました。

蓄えた力はそれを発揮してこそ本当の力になります。チャレンジの中身は、授業中の発表でも、クラスの代表でも、テスト100点でも、給食の完食でも、忘れ物ゼロでも、自分で決めて構いません。自信がなくてこれまでやってみなかつたこと、無理かなあと感じてやらなかつたこと、これまでもやってきましたけれどももっともっと頑張りたいこと。チャレンジすること、やってみることが大切です。やってみて、足りない力が分かったら、そこをもっともっと頑張ればいいのです。

次に「応援」についてです。みなさんがチャレンジするときは、うまくいかなあどドキドキしたり、途中であきらめなくなったりすることがあると思います。そんなとき、友達に応援してもらえると、ぐっと力が出ます。皆さんには、友達が勇気を出してチャレンジしていることを応援してほしいのです。応援のしかたも色々です。うまくいくように手伝ったり、頑張れるように待ってあげたり、安心してチャレンジできるように、友達の失敗を笑わずに励ますことも大切です。

149人のあかいっ子が、一人一人チャレンジして、みんなで応援し合えば、クラスは今よりもっともっと、楽しく、安心できる場所になります。赤井小学校全体も卯年にふさわしく、大きく成長し、ジャンプアップすることができます。校長先生も、先生方も皆さんのチャレンジを心から応援しますよ。さあ、勇気を出して、一緒に頑張りましょう。



ご家庭でも、お子さんのチャレンジを引き出す勇気付けと、励ましや称賛のお声掛けをよろしくお願いいたします。

## ご協力ありがとうございます

本日は、学校の水道凍結に伴う対応についてご協力いただき、ありがとうございます。子どもたちは、トイレや手洗いの使い方についてすぐに慣れてくれ、大きな混乱はありませんでした。子どもたちの適応力に感心するとともに、災害等が起こった際の対応を見直す機会ともなりました。水道については、校長室だよりを作成している10時現在は復旧していません。今後の対応は、改めてメール等でお知らせいたします。

また、冬休み期間中は「ファミリー読書」にご協力いただきました。用紙いっぱい記録を書いた子、読み聞かせや一人読みなど取組はいろいろでしたが、どのお子さんも以前より読書に親しむことができましたようです。これからも読書を通じて、豊かな感性や読解力、新たな知識等を育てていきたいと思っております。



## 和太鼓基金へ寄付をいただきました

南新町自治会の皆様から、和太鼓活動助成金として寄付金をいただきました。和太鼓基金に繰り入れ、今後の修繕等の準備金として活用させていただきます。南新町自治会の皆様、ありがとうございました。

(左) 1年生：元気いっぱいです！